



小さな巨匠たち

—とぎめきアート展—

6年目を迎えた子どもアートグループ「とぎめき工房」は与えられた美術教材ではなく、身の回りの材料や自然素材を使ってアートに取り組んでおられます。

毎月2回、絵画・工作をはじめ、デザインアート、野焼き、ペットボトルを使ったかざぐるま、かかし(コンクールへ出品)、コスチュームアート(衣装)などを制作され、子どもたちはモノづくりの中で芸術活動の楽しさ、創造の喜びを体験してきました。昨年の春と秋には河原に出て「地上絵」や「石ペイント」を行って自然の下でのアート表現を展開してきました。

3月からは「小さな巨匠たち」ときめきアート展」と題して作品を展示しています。子どもたちのほじける熱き想いの作品の数々をぜひご覧ください。



▲自然を利用したアート

- 期間 3月1日(火)~3月25日(金)
平日の8:30~17:15
- 場所 土山支所一階ロビー
- お問い合わせ先
土山支所 ☎66-1101



▲自分の身長よりも高い手作りのかかし

開催期間及びお問い合わせ

盆梅列車

- 期間 3月13日(日)まで
*土・日のみ おひな様キップ発売中!
*なくなり次第終了

盆梅展

- 期間 3月13日(日)まで 10:00~16:00
信楽高原鐵道(株) ☎82-3391

駅構内のおひな様人形展

- 期間 3月3日(木)まで 10:00~17:00 ☎82-3554



▲今回は木箱に入れて販売中!

◆心を和ませてくれます

盆梅展は今年で8回を数え、信楽焼の鉢に信楽盆栽クラブの方々が育てられた盆梅が約40点展示されています。信楽焼の鉢の雰囲気、梅の木が大変よく合い、見る人の心を和ませてくれます。
春がもつすべそこまで来ているようです。皆さんも一度訪れてみてはどうですか。

“しがらき”で春の訪れ

～盆梅列車で行く信楽～

信楽高原鐵道を利用し、少し早い春の訪れを感じてきました。毎年信楽ではこの季節には様々な取り組みが行われています。

信楽高原鐵道の盆梅列車、信楽焼で製作された「おひな様キップ」、駅前での「しがらき盆梅展」、また駅構内での「第6回おひなさま陶人形展」など、春はもつすべそこです。

この盆梅列車は通常運行している車両の後ろに専用列車を連結したもので、車両内には丹精込めて育てられた様々な盆梅が飾られ、車窓からのまじみと合わせ、非常にすばらしいものです。

また、おひな様キップに描かれているデザイン画は元首相の三木武夫さんの妻である睦子さんにご協力いただき製作されたもので、中央にお内裏様とお雛様が描かれています。駅構内の陶人形展では、動物をモデルにしたひな人形や、高さ2cmのひな人形など、大小合わせて約200点あまりが展示されています。